

雪 稜 会 会 員 の 皆 様 へ

☆ 奥多摩（あきる野ほうさわ）初級クライミング山行
5月10日 日曜日①

記	吉川 浩
T E L	090-7413-8290

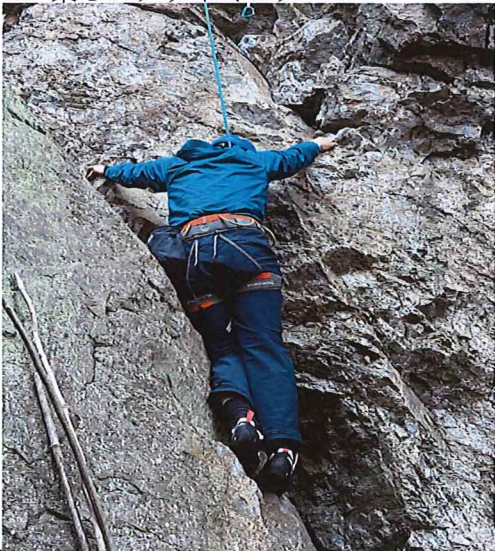
1	内容	◎ 岩慣れ、トップロープクライミング、ビレイ技術の習得(岩質はチャートです)
2	シーズン	初冬～春 11月中旬～1月下旬・2月上旬～5月下旬
3	場所	JR武蔵五日市駅から車で15分、徒歩15分)
4	共用ギア	クライミングロープ(50M)※吉川2本他、クイックドロウ、スリング、安全環カラビナ
5	個人ギヤ	クライミングハーネス、クライミングシューズ、チョークバッグ、ビレイデバイス、ヘッドランプ
6	参加者	西村さん、一之瀬さん、大西さん(予定より遅れ11時前からクライミング)
7	クライミング	☆前の週の降水量にて岩場変更しました、ハーネスのはき方&ロープの結びは繰り返し正確に



雪 稜 会 会 員 の 皆 様 へ

☆ 奥多摩（あきる野ほうさわ）初級クライミング山行
5月10日 日曜日②

記	吉川 浩
T E L	090-7413-8290

1	内容	◎ 岩慣れ、トップロープクライミング、ビレイ技術の習得(岩質はチャートです)
2	シーズン	初冬～春 11月中旬～1月下旬・2月上旬～5月下旬
3	場所	JR武蔵五日市駅から車で15分、徒歩15分)
4	共用ギア	クライミングロープ(50M)※吉川2本他、クイックドロウ、スリング、安全環カラビナ
5	個人ギヤ	クライミングハーネス、クライミングシューズ、チョークバッグ、ビレイデバイス、ヘッドランプ
6	クライミング内容	アップに10a、次にスラブ(足置き難しい)5.8、最後に凹角ルート
7	クライミング 感じた事	はじめての方1名、ハーネスは次回購入下さい。スラブの足置きに苦労、ジムでは練習出来ません。岩場にもっと通いましょう。
8	楽しいクライミング 	

愛宕山

先週 5月14日京都 愛宕山に登りました
全国に約900社あると言われる 愛宕神社の総本宮
火伏守りで有名な神社です

「火廻要慎」という 祀符は京都の台所や店舗にはよく貼られていて それを受ける為には 登山道を歩いて登らなくては 頂けません（次回からは郵送もあるので そのつもりです）

京都河原町から阪急電車で桂 乗り換え 嵐山下車

6:24 発のバスで清滝へ約 20分

6:57 程なく 鳥居がありここから登山道スタート

標高 924m 往復コースタイム約5時間

登りは緩やかだが ずーっと階段続き 約2時間で山頂、愛宕神社に到着 8:55

下山は同じ道を下り テンポよく駆け降りて来てしまった為 最後は足がガクガクでした

バス停に 10:30 着（10:20 にバスが出た後でした）

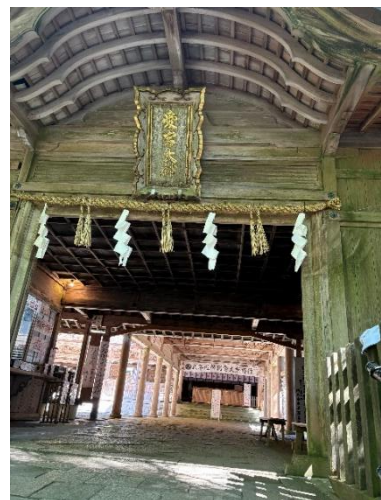
次のバスを待つのに 50分待ちました

嵐山には ちょうどお昼だったので 湯葉うどんのランチ

お天気も良く 地元の方々とすれ違いながら 静かな山行でした

ご報告まで

（記録&写真：松田紀子）



赤城山（黒檜山）でツツジを観る

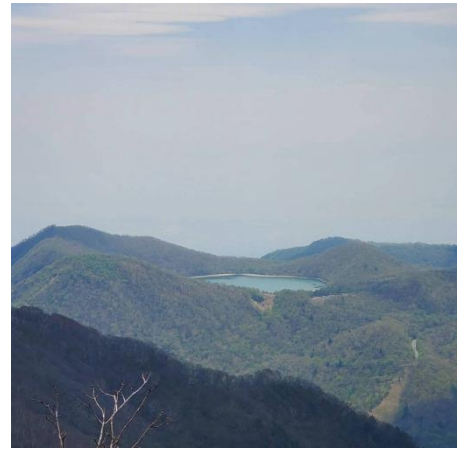
1. 日程：2026 年 5 月 20 日（水曜日）
2. 参加者： 6 名
3. コース： 黒檜山登山口駐車場から黒檜山と駒ヶ岳を時計回りで周回 （標準時間）3:25
黒檜山駐車場 9:20⇒駒ヶ岳分岐 11:00⇒黒檜山 11:05⇒11:10 展望台 11:40⇒
12:35 駒ヶ岳⇒13:20 駒ヶ岳登山口⇒13:40 黒檜山駐車場

4. 山行報告

車 2 台に分乗してツツジで有名な黒檜山を目指す。渋滞を避けるため 6 時前に横浜を出発し、ナビは第三京浜、環八、関越自動車道にて向かう。環八が多少渋滞したが、9 時少しに駐車場に到着した。黒檜山駐車場には数台しかなく空いていた。いきなり歓声が聞こえてきたが、どうやら大沼でボートを漕いでいる若者の掛け声のようだった。身支度して歩いて数分で登山口、ここからすぐに急登が続くが、大沼からの涼風や咲きだした東国ミツバツツジ、振り返ると眼下に赤城神社も見えて気持ちの良い山行だ。ようやく駒ヶ岳への分岐をすぎると黒檜山山頂にすぐに到着、そこから数分の先にある



展望台？で昼食をとった。雪に覆われた谷川岳や至仏山が良く見える。帰りは駒ヶ岳経由にて下山するが、途中にある絶景ポイントから見る小沼の緑色も神秘的だ。ここからの登山道はよく整備されており気持ちよく歩けた。結局ほぼ標準タイムで駐車場に戻ることが出来た。このコースは今回のように時計回りの方が歩きやすく正解だったと思う。



感想 Y-横浜は初夏ですが、赤城山はもう一度春を堪能できた。東国ミツバツツジが贅沢なほど咲いていました。

（写真提供 I・M・Y・H 他→右上：黒檜山山頂、右中；山頂付近から小沼を観る 左中：ツツジに囲まれて、左下：頂上付近の平坦な道を歩く）

以上